



パラアイスホッケー

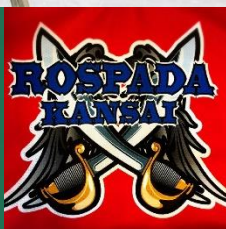
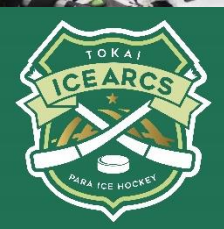
第30回国内クラブ選手権大会

パラアイスホッケー体験会同時開催



東海地区初開催！

双剣の戦いを
ぜひ観戦してください！



会場：日本ガイシアリーナスケートリンク

〒457-0833 愛知県名古屋市南区東又兵衛町5丁目1-5

日時：2022.3.26 sat

10:00- 東海アイスアークス VS 長野サンダーバース

14:00- ロスパダ関西 VS 東海アイスアークス

18:00- 長野サンダーバース VS ロスパダ関西

パラアイスホッケー体験会 第1回12:10- 第2回16:10-

体験会はどなたでも参加可能です。選手発掘のため、障がい者を優先する可能性があります。マスク着用、手袋持参をお願いします。
新型コロナウイルス感染状況により、中止する可能性があります

参加費：観戦、体験共に無料

お問い合わせ：日本パラアイスホッケー協会HPより

注意事項：新型コロナウイルスにより予定の変更や無観客、体験会中止等を行う可能性があります。日本パラアイスホッケー協会HPよりご確認ください。

主催：日本パラアイスホッケー協会 共催：愛知県アイスホッケー連盟

パラアイスホッケーは下肢に障害を持つ選手のためのスポーツです。切断、脊髄損傷、機能障害など選手の障害の程度は様々ですが、車いすバスケのような持ち点制度などはありません。氷に乗ったら選手は皆平等です。

選手は「スレッジ」と呼ばれるスケートの刃を2枚つけた専用のそりに乗り、両手にスティックを1本ずつ持ち、プレーします。スティックの先端にはギザギザの「ピック」がついており、漕ぐ動作で前進しながら反対側のブレード部分でパックを操ります。

国内には、北海道、青森県、東京都、長野県、愛知県、兵庫県に計7つのクラブチームがあります。国際大会に出場出来るのは一定の障害を持った選手だけですが、クラブチームの練習や大会には健常者も参加しています。



写真提供: 小金澤周平 / 公益財団法人苫小牧市体育協会

【体験会について】

実際にスレッジに乗り、直線走行、ターン、シュート等の基本的な動作を体験します。

スレッジ、スティック、肘当て、ヘルメットは協会が準備致します。また、レクリエーション保険に加入致します。

日本代表選手やスタッフも参加しますので、競技に関して分からないことや不安なことなどがあれば何でも聞いてください。

本格的に競技に参加したい方はもちろん、どんな競技か知りたい方の参加もお待ちしております。選手ではなく、スタッフとして競技を支援したい方もぜひリンクへお越しください。



←スレッジ、ヘルメット、スティック



(C)Nikolay Kondakov,POCOG

【日本代表】

- ・ 1998長野パラリンピック以降、2014ソチ大会を除く5大会に出場。
2010年バンクーバー大会では銀メダルを獲得。
- ・ 全国のクラブチームより17名が選抜。
- ・ 合宿は月に2回。年に複数回海外遠征あり。
- ・ 合宿地は主に長野県岡谷市。他に名古屋市、青森県八戸市など。



JAPAN PARA ICE HOCKEY
ASSOCIATION

一般社団法人 **日本パラアイスホッケー協会**

〒107-0052

東京都港区赤坂1-2-2 日本財団ビル4階 日本財団パラスポーツサポートセンター 内

パラアイスホッケー

検索